

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.110

発行所: 日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都がん検診センター
消化器内科
TEL / 042-321-0711
E-mail: kantou@jsdcs-kanto.jp



第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会長挨拶	2
ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果	4
地方会報告 見本真一（公益財団法人 神奈川県予防医学協会）	6
木村友子（公益財団法人 ちば県民保健予防財団）	9

大腸CT用経口造影剤 コロンフォート内容懸濁液25% 株式会社伏見製薬	10
-------------------------------------	----

胃X線検査を楽しく学ぶ会 カイゲンファーマ株式会社 花岡勇一郎	12
---------------------------------	----

第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会告	14
会長挨拶	15

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会告	16
----	----

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

放射線研修委員会	
第50回学術集会のご案内	17
超音波研修委員会	
超音波スクリーニング研修講習会2018五反田のご案内	18
第7回千葉セミナーのご案内	20

編集後記 山口和也	22
-----------	----

第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会 長 挨 拶

第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を終えて



第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会長 小 林 望

(栃木県立がんセンター 消化器内科)

平成30年9月2日(日)に、第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を、栃木県総合文化センターにて開催させていただきました。時折、小雨のぱらつくあいにくの天気でしたが、390名の方に宇都宮までお越しいただき、心より感謝いたしております。

今回は、「消化器がん検診の裾野を広げる」をテーマとさせていただき、受診率の向上、より負担の少ない検診法、検診従事者の育成などをテーマとした多くのご発表を頂きました。シンポジウム「消化器がん検診の裾野を広げるためには？」においては、真の受診率が把握できていないという根本的な問題が解決されていない現状があったものの、演者の先生方にはそれぞれの立場からより効率的な検診体制に関する提言をいただき、私自身も大変勉強になりました。そのほかにも、各分野のエキスパートの先生による講演、胃内視鏡検診に関するランチョンセミナー、保健師のコミュニケーションスキルに関するセミナーなど、皆様のご協力のおかげで、大変充実したプログラムを開催することができました。また、アンサーパッドを用いた症例検討会、超音波ライブデモ、胃X線検査のワークショップにおいても、活発に討論を繰り広げていただき、ご参加いただいた皆様にとっても、有意義な時間となったのではないのでしょうか。各セッションをご担当いただきました座長・演者の先生方、多大なる協賛・後援をいただきました各団体様、そして当日ご参加いただきました会員の皆様に、ここで改めて御礼申し上げます。

学会運営会社を介さない手作りの会でしたので、ご参加いただいた皆様にはご迷惑をおかけしたかと思いますが、多くの学会員の方からご協力、ご指導を頂き、なんとか無事に会を終えることができました。また当日の運営に際しましては、自施設以外にも、栃木県内の検診に関わる



たくさんの皆様にご協力を頂き、大変心強く感じました。来年以降の会におきましても、学会員だけでなく地元の検診従事者のご協力が無ければ成り立たないと思いますし、それは普段の検診業務においても同じことが言えると思います。本学会の運営を通じて、各自治体内における業務連携の重要性、さらには本学会の消化器がん検診におけるリーダーシップの必要性を実感させていただくことができました。この貴重な経験を、今後の検診業務に生かしていきたいと思います。

最後になりましたが、群馬県で開催されます次回の地方会の盛会と、本学会を中心に消化器がん検診の裾野がますます広がることを祈念して、御礼のご挨拶とさせていただきます。



第78回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会 2018年9月2日 栃木県総合文化センター

第11回 2018年 ザ・ベストイメージング・コンテスト優秀作品

【最優秀賞】

梅木 清隆 (千葉西総合病院 消化器内科)



診断名：十二指腸Brunnel腺腫

患者：60歳代 男性

使用機種：Canon Aplio 500

周波数：6.0MHz

コメント（術者の一言）

飲水法で描出を試みました。
思った以上に十二指腸球部に水がたまったため描出できました。
Brunnel腺腫は内部に囊胞構造があるのが特徴ですが、本例では小囊胞を1個認めるのみでした。内視鏡的切除で最終診断しました。

【優秀賞】

滝内 直二 (東京臨海病院 超音波検査室)



診断名：十二指腸乳頭部癌

患者：70歳代 男性

使用機種：Canon Aplio 500

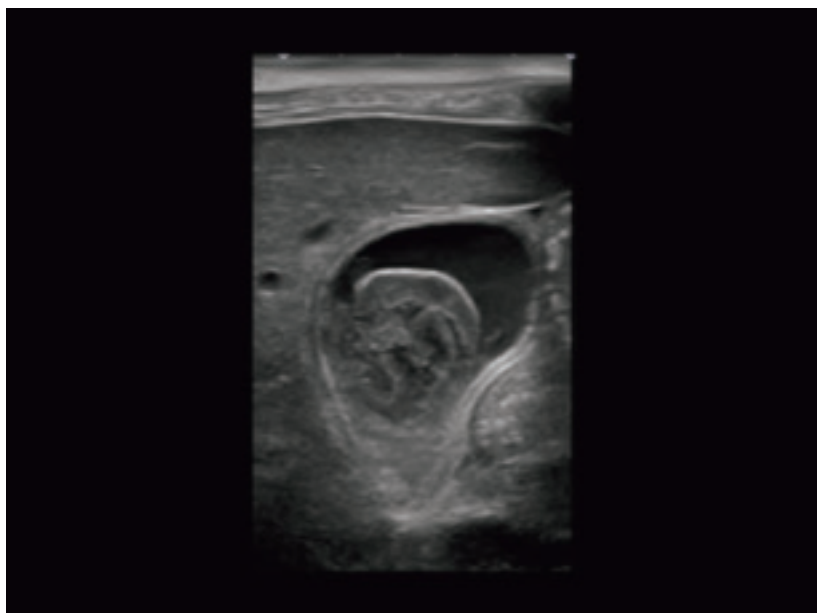
周波数：6.5MHz

コメント（術者の一言）

拡張した総胆管、及び膵管が共に描出でき、十二指腸乳頭部を構成する共通管部（Ac）に位置する低エコー腫瘤を、EUSと同様に描出できました。十二指腸乳頭開口部は隆起し、肉眼的形態分類の腫瘤型を考えました。

【特別賞】

長岡 亜実（日本大学付属板橋病院 超音波検査科）



診断名：胆嚢内出血

患者：70歳代 男性

使用機種：Canon Aplio 400

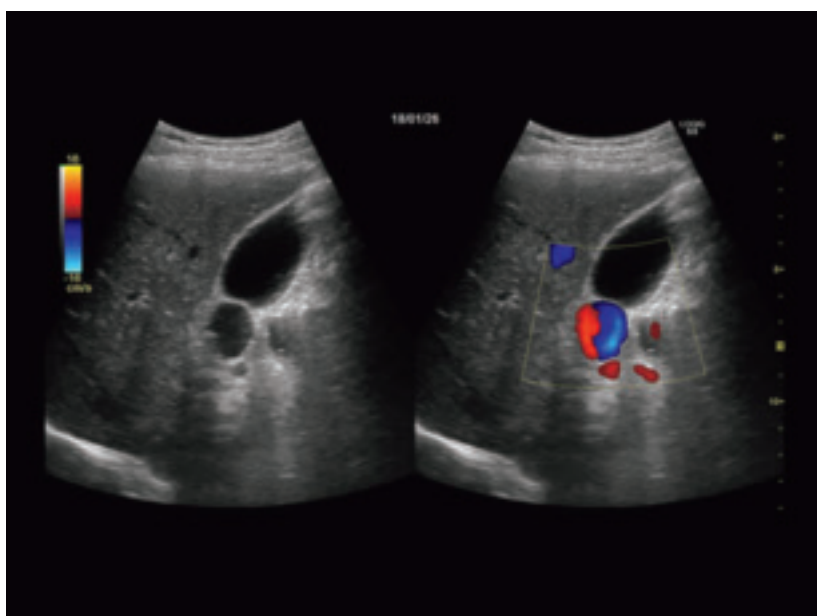
周波数：10.0MHz

コメント（術者の一言）

内腔の詳細把握の為、高周波を使用しました。

【特別賞】

金子 真人（日本大学病院 消化器内科）



診断名：動脈瘤

（胃十二指腸動脈瘤）

患者：80歳代 男性

使用機種：GE Healthcare LOGIQ S8

周波数：3.5MHz

コメント（術者の一言）

B-modeでは一見胆嚢の様に見えますが、カラードプラを使用することで動脈瘤と診断できました。

地 方 会 報 告

第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

栃木県総合文化センター

+ 放射線 ワークショップ 開催を終えて

公財) 神奈川県予防医学協会
放射線技術部 見本真一



日時 2018年9月2日(日)
14:10~16:00

講演者

右上 さいたま市市民区療センター
今出 克利
埼玉県診療放射線技師会の
教育体制と上部消化管検査の
被ばくの最適化に向けて

左下 こころとからだの元気プラザ
重松 綾
上部消化管 X 線画像の適正化
と粘膜萎縮の定量化に向けて

右下 神奈川県予防医学協会
植村 博次
神奈川県消化器がん検診機関
一次検診連絡協議会の
教育体制

司会 栃木県保健衛生事業団
増田 英夫
神奈川県予防医学協会
見本 真一



+ 討議テーマ

- 1) 基準撮影法規定体位と追加撮影に関する教育体制
- 2) 画質向上と被ばく低減を目指す管理体制
- 3) 粘膜萎縮判定、リスク層別化に関する標準化構想
- 4) 読影判定区分に関する胃がん検診専門技師育成計画

Google フォームによる
会場でのリアルタイム
アンケートを同時実施

「胃 X 線検査の裾野を広げる教育体制」

近年、胃がん検診を取り巻く状況は大きく変化している。対策型胃がん検診としては、対象を 50 歳以上隔年検診とされ、内視鏡検診が認められた。一部の事業所検診においても同様のガイドラインが採用されることとなった。一方で胃がんリスク層別化検査(ABC 分類)が徐々に普及しており画像診断を組み合わせ真の未感染者を特定する研究が進んでいる。

「胃 X 線検診のための読影判定区分」では、萎縮性胃炎を考慮したカテゴリー分類が示されリスクの層別化に対応するものになっている。本ワークショップでは、このような環境の中、診療放射線技師に求められる撮影技術、萎縮性胃炎を考慮した読影力の養成が必要であり、胃 X 線検査の裾野を広げるべく左に示す 4 点を討論し、今後の教育体制の基盤づくりに必要な課題を探る。

埼玉県診療放射線技師会の教育体制と 上部消化管検査の被ばくの最適化に向けて

今出 克利

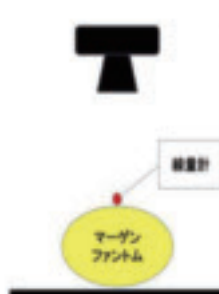
本学会の胃がん検診専門技師制度が発足する前年の平成12年度より埼玉県技師会独自の上部消化管認定制度を継続してきた。認定取得には、提出画像評価、筆記試験、読影試験をクリアする必要があり、成績90点以上のA評価者は全体の1.5%とのこと。また、撮影装置4台での入射表面線量の比較では、約2倍の違いがあり、線量の把握や不要な透視観察の低減など、被ばく最適化の重要性を唱えた。



認定画像
評価

入射表面線量測定方法

測定結果



結果:入射表面線量

単位: mSv
換算係数: 1.4
()内は測定値

	装置A	装置B	装置C	装置D
透視線量	45.62 (32.59)	52.35 (37.39)	84.98 (60.70)	34.10 (24.36)
撮影線量	17.11 (12.22)	14.87 (10.62)	9.66 (6.96)	8.32 (5.94)
total	62.73 (44.81)	67.22 (48.01)	91.88 (67.66)	42.42 (30.30)



上部消化管 X 線画像の適正化と萎縮粘膜の定量化に向けて 線量が多ければ必ず画質が良いか？

重松 綾

画像の評価指標である、濃度、コントラスト、鮮鋭性、粒状性について、JSGI ファントムによる線量と画質の相関を検討した。また、胃 X 線画像による背景粘膜診断の定量化について、粘膜模様をパターン化し定量的指標とするフラクタル次元

の考え方を紹介した。「良い画像とは何か」または、「粘膜面がどのくらい粗造か」といった、画像診断における曖昧さについて、技術の進化を活用した定量化が今後求められることを示唆する内容であった。



神奈川県消化器がん検診機関

一次検診連絡協議会の教育体制 植村 博次

＋ 規定体位キーワードを用いた新人教育

「そこで止まって、息を止めてください」との基礎的な撮影手技を新人技師に指導するにあたり、どこで止めるのが正しいかを、もっとわかりやすくすべく、神奈川県消化器協議会メンバーで検討を続けてきた。結果、規定体位を一言で表現できるキーワードにより、透視観察におけるポジショニング判断を標準化することを試みた。

また、学会読影判定区分の練習問題 10 症例を用いて協議会所属 13 機関 27 名の医師・技師にてカテゴリーを回答集計した結果、正解率は約 34%であった。特にカテゴリー 1・2 の定義を正しく認識していない点、また良悪性判定に迷う例について 3a、3b、4 の考え方がばらつく傾向を認めた。



新人研修項目とキーワード例

結果

質問	回答	正解数	正解率
質問1	体部(小腸より)から幽門部(大腸より)の位置	1 (11.1%)	2 (22.2%)
質問2	EGJが膈体左側	26 (266.7%)	4 (44.4%)
質問3	体部(小腸より)から幽門部(大腸より)の位置	2 (22.2%)	3 (33.3%)
質問4	EGJが膈体左側	5 (55.6%)	4 (44.4%)
質問5	体部(小腸より)から幽門部(大腸より)の位置	3 (33.3%)	3 (33.3%)
質問6	EGJが膈体左側	2 (22.2%)	2 (22.2%)
質問7	体部(小腸より)から幽門部(大腸より)の位置	26 (266.7%)	3 (33.3%)
質問8	EGJが膈体左側	4 (44.4%)	3 (33.3%)
質問9	体部(小腸より)から幽門部(大腸より)の位置	2 (22.2%)	2 (22.2%)
質問10	EGJが膈体左側	26 (266.7%)	3 (33.3%)

練習問題回答結果

アンケート結果

＋ (Google フォーム活用)

全体討議ではアンケート集計結果に基づく検討を行ったが、不慣れなせいか、回答数は 16 件に留まった。線量を把握している 25%、画像評価を実施している 18.8%、良い画像の定義がある 37.5%、学会判定区分を導入している 18.8%などが低い結果であった。(前頁の QR コードより追加集計を継続募集中)

＋ まとめ

裾野を広げる取り組みがいかに重要で、かつ困難な課題であるかを認識できたワークショップとなりました。末筆となりましたが、今回大変貴重な機会を与えていただいた、大会長の栃木県立がんセンター内視鏡センター長小林望先生に改めて御礼申し上げます。

もっと集まれ地方会へ

(公財) ちば県民保健予防財団検査部 木村友子

第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会は、台風21号が南から迫ってくる中、9月2日（日曜日）に、栃木県総合文化センターで開催されました。早朝の東京駅で新幹線に乗り込むも、満席の状態でした。なぜか、スーツ姿の人を見ると、「皆な学会にいくのかしら?」と勝手に想像しながら。自宅を出る時間は、千葉は快晴であったため、傘は折り畳みすら持たずに出てきたのですが、「栃木の天気は急変するから甘くみるなよ」と、友人の教え通り、宇都宮に到着の頃は、横殴りの雨が降り出しました。

超音波研修委員会地方会の楽しみは、「ザ・イメージングコンテスト」で、超音波で描き出された美しい画像に出会えることです。

今年は、34の「ベストショット」に出会いました。

胆管を十二指腸乳頭部近傍まで追い、遠位胆管をいかに美しく描出し観察するかが最近の私の課題であり、今回の「優秀賞・十二指腸乳頭部癌」の描出・観察力に感動しました。

相次ぐ台風、自然災害の影響なのか、超音波研修委員会への参加者が少なく感じた地方会でしたが、一人でも多くの「超音波好き」が集い、超音波によるがん発見率向上を目指して活発な意見・情報交換ができることを期待します。

消化管の診断に

処方薬医薬品
X線造影剤（硫酸バリウム製剤）

（注）X線造影剤

硫酸バリウム散 99.1%「共成」	バリトップP
ネオバルギンEHD	バリトップHD
ネオバルギンUHD	バリブライツP
ネオバルギンHD	バリブライツCL
	バリブライツLV
	バリコンクMX

（注）ゾル製品

バムスターS200	バリトップゾル150
バリトップ120	バリブライツゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。
※注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元 **KAIGEN** カイゲンファーマ株式会社
大阪府中央区道修町二丁目5番14号（資料請求先 商品企画部）
<http://www.kaigen-pharma.co.jp>



健やかを、整えるから。

菊池基伸収載

大腸CT用経口造影剤 コロンフォート内用懸濁液25% ～本邦初の大腸CT用経口造影剤～

株式会社伏見製薬所

コロンフォート内用懸濁液25%は、硫酸バリウムを有効成分とし、大腸CT検査にあたって検査前日からの食後に3回経口投与することにより、腸管内残渣に高いCT値を与えて腹部組織との画像上の識別を可能とします。すなわち、腸管洗浄を行わなくても大腸画像診断を可能とする、大腸CT検査のための陽性経口造影剤です。

当社伏見製薬所は、60年以上にわたり消化管X線造影用の硫酸バリウム製剤の研究開発・製造販売を行ってきました。2016年6月に「腸内容物の標識による大腸コンピューター断層撮像の補助」という新たな適応を有する硫酸バリウム製剤「コロンフォート内用懸濁液25%（以下、コロンフォート）」を発売しましたのでその概要をご紹介します。

○コロンフォートの特徴

コロンフォートは硫酸バリウム濃度25w/v %の懸濁液で1回服用量32mLを1瓶に包装しています（図1）。1回服用量に含まれる硫酸バリウムは8gです。1検査あたり3回の服用で硫酸バリウムの量としては合計24gとなり、胃X線検査における服用量（硫酸バリウムとして200～300g）の約1/10の量です。残渣に均一に混ざることを目的として粒子径や粘性などを工夫しました。コロンフォートは受診者が自宅で服用する初めての硫酸バリウム製剤です。飲みやすさを重視して甘味料、香料を配合し、服用しやすい量と濃度の懸濁液としました。



図1 コロンフォート内用懸濁液25%

○コロンフォートの適用方法

コロンフォートの服用方法は、これまでの胃X線検査用の硫酸バリウム製剤とは大きく異なり、空腹時ではなく食後に服用します。服用時期も検査直前ではなく検査前日の食後3回です。また受診者が自宅又は職場などで服用します。コロンフォートを用いた前処置では腸管洗浄を行う必要はありません。ただし、検査前日は消化のよい食事とし、コロンフォート服用前の非標識便を排泄するため高張性下剤や緩下剤を併用することが必要です。コロンフォートと下剤の服用のタイミングは、検査時間や下剤の効果発現時間等に応じて決定する必要があります。（図2を参照ください）



図2 コロンフォートの適用例

○コロンフォートの使用上の注意（安全性）

コロンフォートの適用が禁忌である患者及び慎重投与である患者は、これまでの硫酸バリウム製剤と同様です。硫酸バリウムの適用量としては胃X線検査の1/10程度となることから、副作用等の発生のリスクが既存の硫酸バリウム製剤を上回ることは考えにくいですが、受診者が自宅

に持ち帰り服用するため、安全な使用には十分に注意を払う必要があります。特に注意すべき副作用としては、アナフィラキシーなどの過敏症症状、消化管穿孔・腹膜炎などの消化器症状があります。コロフオートのご使用に際しては、「添付文書」及び「インタビューフォーム」をご確認ください。

○コロフオートの有効性

承認取得時の治験における、全大腸内視鏡検査に対するコロフオートを用いた大腸CT検査の診断精度、タギング状態、前処置の受容性は以下の通りでした。

(診断精度)

便潜血陽性者73例を対象にコロフオートを用いた大腸CT検査の結果と、全大腸内視鏡検査結果を比較しました。6 mm以上の隆起性病変に対する診断精度は、感度0.778 (14/18)、特異度0.945 (52/55)、正診率0.904 (66/73) でした。コロフオートを用いた大腸CT検査は十分な診断精度を有することが確認できました。

(タギング状態)

全大腸を6部位に区分し、腸管内に残留していた便について、3名の読影医がそれぞれ目視により便のタギング状態を評価し、部位ごとに良好・不良を判定しました。タギングが良好とされた部位の割合(良好とされた部位/残渣が認められた部位)は、盲腸0.630 (126/200)、上行結腸0.683 (136/199)、横行結腸0.871 (162/186)、下行結腸0.868 (145/167)、S状結腸0.852 (156/183)、直腸0.759 (129/170) でした。全部位では0.773 (854/1105) であり、残便が認められた部位の約8割で識別の良好なタギング像が得られました。(図3)



図3 コロフオートによる良好なタギング像

(前処置の受容性)

コロフオートを用いた大腸CT検査の前処置と腸管洗浄を行った全大腸内視鏡検査の前処置の受容性を、VAS(ビジュアル・アナログ・スケール)を用いた受診者アンケートにより比較しました。コロフオートと高張性下剤、緩下剤の組み合わせによる前処置の負担(33.2±2.6)は、腸管洗浄による前処置の負担(49.7±2.7)に比べて有意に小さいことが示されました。(図4)

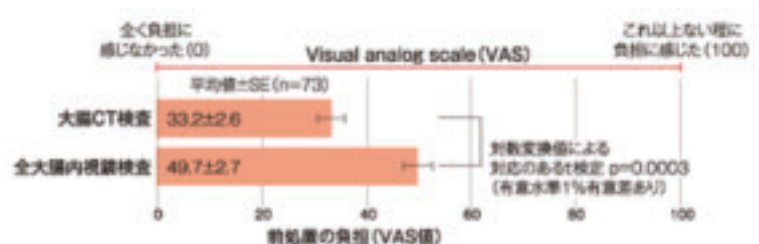


図4 前処置の負担の比較 (VAS値)

○コロフオートの臨床的意義

コロフオートを用いた大腸CT検査では、これまでの大腸CT検査と同等の診断精度が得られ、かつ前処置の受容性はこれまでよりも高いことが示されました。すなわち、コロフオートを用いることで、検査精度を維持しつつ受診者の負担を軽減することが可能となり、負担の小さい新たな大腸画像診断の選択肢となります。コロフオートは、大腸がん検診の精検受診率の向上、そして大腸がんの早期発見に寄与できる製剤であると期待しています。

胃X線検査を楽しく学ぶ会

Enjoying Ba Study Meeting

基本的なところからわかりやすく楽しく

カイゲンファーマ株式会社 花岡勇一郎

～胃X線検査を楽しく学ぶ会とは～

当研究会は、「日常診療に役立つ消化管造影検査の撮影技術と読影力を学び、工夫し、普及させ消化管造影検査に従事する人材を育成し、社会福祉に貢献すること」を目的とし、平成22年9月22日発足致しました。顧問に細井董三先生、代表世話人に入口陽介先生（東京都がん検診センター）を中心に、第1回～第16回まで平均340名と毎回関東近隣を含め、300名を超える方々にご参加頂いております。

若い方々が参加しやすく、基礎的な言葉の意味や画像所見・撮影技術を分かりやすく議論していくことにより、若手診療放射線技師・医師の底上げをはかることが目的の研究会です。

胃X線検査の重要性・必要性を継続して訴えていき、若い人たちを育て、胃X線検査を次世代に伝えていく役割を担えるような研究会を目指しております。

胃X線検査に理解を深め、参加して頂いた方々に新しい発見の手助けが出来るよう今後も継続して参りますのでお気軽にご参加ください。



東京都がん検診センター 入口陽介先生



～胃X線検査を楽しく学ぶ会の地方会と分科会について～

本研究会は、年間2回開催しており、3月は「読影」7月は「撮影」を主体に行っております。通常は東京で開催しておりますが、かねてより各地方での開催の要望があり、平成25年11月9日(土)大阪大会を皮切りに東海北陸大会、九州大会、東北大会と約300人近い方々にご参加頂き、盛況に終わりました。

また、平成29年から経験年数5年未満の方対象に、質問しやすい少人数制のグループ学習を取り入れ、「基本的なことからわかりやすく楽しく」を基本とした基礎講座「もっと楽しく学ぶ会」を立ち上げました。講師陣の方々も、ご参加される方のちょっと先輩で、撮影中に不安だったところや、中々聞けなかった部分をわかりやすく解説して頂いております。

経験年数が浅い5年未満の方、これから胃X線を勉強したい方のご参加をお待ちしております。



～「もっと楽しく学ぶ会」の学習風景～



Information

胃 X 線検査を楽しく学ぶ会開催のお知らせ



消化管コラボレーションミーティング 2019

第100回神奈川消化管撮影技術研究会 / 第17回胃X線検査を楽しく学ぶ会

日時：平成31年2月16日(土) 13時30分～(受付12時30分より)

場所：はまぎんホールヴィアマーレ 横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店ビル1F

胃X線検査を楽しく学ぶ会 ホームページ <http://www.ebasn.info>

共催：カイゲンファーマ株式会社

詳しくはQRコードからホームページをご覧ください



第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：萩原廣明（萩原内科医院）
 会 期：2019年9月29日（日）
 会 場：前橋テルサ（群馬県前橋市千代田町2-5-1）
 会 費：医師3,000円 その他2,000円

【お問い合わせ先・事務局】

第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

萩原内科医院（千明未佳 萩原廣明 金田佳子）

〒379-2106 群馬県前橋市荒子町1585-2

TEL：027-268-1415

FAX：027-268-1416

E-mail：gankenshin79@fol.hi-ho.jp

ホームページ：http://www.jsjgcs-kanto-79th.jp/



前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

【錠剤/パリエム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォード 内用懸濁液25%

■ 消化管X線造影剤

バリオガンHD

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター 注腸散

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスターA240散

バリオガンデラックス

バリオガン

バリオガンSHD

【炭酸水素ナトリウム・消石酸配合剤】

ウムブラMD

■ X線診断用二重造影用発泡剤

硫酸バリウム散 99.5%「FSK」

パリエース 発泡顆粒

■ 胃内汚染性粘液除去剤

バリオガン 消泡内用液2%
(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースルー錠2.5mg
(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two**☆

エスビー食品と共同開発。
味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清澄飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン（食物繊維として）入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

G.I. Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL：03-5283-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

伏見製薬株式会社
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所／TEL 022-295-5667 東京営業所／TEL 03-5328-7801
名古屋営業所／TEL 052-732-8555 大阪営業所／TEL 06-6160-2431
中西国営業所／TEL 0877-22-7284 福岡営業所／TEL 092-413-4107

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

会 長 挨 拶

第79回地方会開催にあたって



第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会長 萩 原 廣 明

(萩原内科医院)

このたび、第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を平成31年（2019年）9月29日（日曜日）に前橋テルサにて開催させていただくことになりました。伝統ある本会の会長を務めさせていただくことは身に余る光栄に存じます。本学会は、医師、臨床放射線技師、臨床検査技師、保健師等、消化器がん検診に携わる多職種の会員から成り立っているため、すべての会員にとって有意義な学会となるよう準備を進めさせていただいております。

今回のテーマは「これからの消化器がん検診を考える」といたしました。胃X線検診は、本学会より読影判定区分（カテゴリー分類）が策定されたことで、精度向上が期待されています。胃内視鏡検診は今後全国的に導入されていくと考えられますが、解決すべき課題も残っており、また、見逃しのない胃内標準撮影法を学会として早急に構築する必要があります。胃がんリスク層別化検診も効率的で有用な検診法ですが、クリアすべき課題がまだありそうです。腹部超音波検診では検診判定マニュアルが活用されており、その有用性と課題が議論されています。大腸がん検診は受診率の向上と精検受診率の向上が今後の課題であり、大腸内視鏡検診や大腸CT検診の可能性も考えていかなければなりません。本学会では、特別講演、教育講演、パネルディスカッションでこの課題を取り上げ、皆さまから忌憚ないご意見をいただき、これからの消化器がん検診の受診率と精度の向上につながる議論ができるものと考えています。

会場の前橋市は関東平野の北西、上毛三山の一つである赤城山南麓に位置し、市内を利根川と広瀬川が流れ、緑も多く水資源に恵まれた街です。会場近くには、群馬県の迎賓館として明治17年に建てられた臨江閣、緑豊かな前橋公園、広瀬川沿いに萩原朔太郎記念館、群馬のソウルフード「焼きまんじゅう」の元祖の店もございますので、時間があれば足を運んでいただくのもよろしいかと存じます。

多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：山口和也

(公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター消化器内科)

会 期：2020年10月18日(日)

会 場：オークラ千葉ホテル (千葉市中央区中央港1-13-3)

参加費：3,000円

【お問い合わせ先・事務局】

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局
公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター消化器内科
山口和也

〒261-0002 千葉市美浜区新港32-14

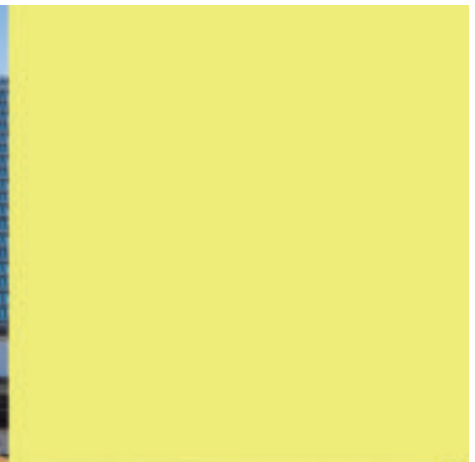
TEL：043-246-8664

E-mail：ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp

ホームページ：準備中



胃 X 線検診を
多角的に捉える



胃がん検診専門技師
認定更新： 3 単位
参加費：3,000 円



日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 第 50 回 放射線研修委員会 学術集会

2019 年 2 月 23 日 (土)

会場：日経ホール

東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル



第50回Webサイトはこちら

大 会 長：水谷 勝 (東京都がん検診センター)
実行委員長：山岸 史明 (東京都がん検診センター)

超音波スクリーニング 研修講演会 2018五反田

日時

平成30年 **12月15日（土）**

午前9時40分～午後5時

開場・受付開始 午前9時

会場

TOC五反田メッセ

東京都品川区西五反田6-6-19

参加費

6000円

事前登録不要

主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク
共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会
後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会
日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会
日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会
東京超音波研究会

- ※ 超音波検査士更新5点が付与されます。
- ※ ランチョンセミナー お弁当（1000食限定）を用意しています。
- ※ 超音波関連書籍の展示販売を行います。

特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク事務局
東京都世田谷区上用賀6-25-1 関東中央病院 超音波室
問合せ E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp

プログラム (テーマ: USスクリーニングの重要所見)

時間	第一会場 (自由席1000席)	第二会場 (優先席150席・自由席200席)
9:40	開会の辞 理事長 桑島 章	
9:45 ~10:30	■胆道 講師: 関口 隆三 (東邦大学医療センター 大橋病院) 司会: 岩田 好隆 (東京女子医科大学 東医療センター)	ライブセミナー1 ■脾臓 講師: 岡庭 信司 (飯田市立病院) 司会: 鳥海 修 (関東中央病院)
10:45 ~11:30	■消化管 講師: 長谷川 雄一 (成田赤十字病院) 司会: 桑島 章 (PL東京健康管理センター)	ライブセミナー2 ■胆道 講師: 関口 隆三 (東邦大学医療センター) 司会: 谷田部 眞由美
12:00 ~12:45	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師: 市原 真 (札幌厚生病院) 司会: 若杉 聡 (千葉西総合病院)	
13:00 ~13:45	■脾臓 講師: 岡庭 信司 (飯田市立病院) 司会: 神宮宇 広明 (東京都予防医学協会)	ライブセミナー3 ■消化管 講師: 長谷川 雄一 (成田赤十字病院) 司会: 永井 悟 (湘南藤沢徳洲会病院)
14:00 ~14:45	■乳腺 講師: 渡邊 良二 (糸島医師会病院) 司会: 高田 悦雄 (那須赤十字病院)	ライブセミナー4 ■肝臓 講師: 若杉 聡 (千葉西総合病院) 司会: 伊藤 正範 (新宿健診プラザ)
15:00 ~15:55	■腎臓 講師: 森 秀明 (杏林大学医学部付属病院) 司会: 岩下 和広 (飯田市立病院)	
	■超音波検査士受験(健診領域の書類審査)及び超音波検査士更新について	
16:10 ~16:55	■肝臓 講師: 小川 眞広 (日本大学病院) 司会: 矢島 晴美 (東京都予防医学協会)	
16:55	閉会の辞 副理事長 関口 隆三	



アクセス
TOC五反田メッセ
東京都品川区西五反田6-6-19

ライブセミナーのご案内

ライブセミナー1 脾臓、2 胆道
共催: GEヘルスケア・ジャパン株式会社
ライブセミナー3 消化管、4 肝臓
共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社

- ライブセミナーは各回ごとの入替えになります。
- 席数は350席(優先席150席・自由席200席)です。
- 各領域ごとの優先券を当日配布いたします。
- 優先券は、お一人様いずれかの領域の1枚とさせていただきます。
- 優先券をお持ちの方は、開始時間までに優先席にご着席ください。
- 開始時間を過ぎた優先席の空き席は、優先券のない方に開放いたします。
- 優先券をお持ちでない方は、自由席にご着席ください。
- 自由席が満席の場合は立ち見になりますのでご了承ください。

日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 超音波研修委員会 第7回千葉セミナー

日時：2019年 2月23日(土) (受付11時30分～)

会場：ちば県民保健予防財団 講堂

大会長：山口和也 (ちば県民保健予防財団総合健診センター)

参加費：日本消化器がん検診学会会員・非会員：500円 (事前登録不要)

<超音波検査士資格更新指定／出席5単位>

プログラム

11：30～受付

12：30 開会の挨拶
山口和也 (ちば県民保健予防財団)

12：30
メーカー情報提供
・GEヘルスケア・ジャパン株式会社
・株式会社日立製作所
・キヤノンメディカルシステムズ株式会社
・シーメンスヘルスケア株式会社

13：30～14：00
教育講演Ⅰ「スクリーニング発見癌」
講師／山口和也 (ちば県民保健予防財団)

14：20～15：20
教育講演Ⅱ
「検査精度向上のためのポイント」
講師／関根智紀 (国保旭中央病院)

15：40～16：40
教育講演Ⅲ「臍臓」
講師／森秀明 (杏林大学第三内科)

16：40 閉会の挨拶

◆機器展示◆

11：30～16：00

- ・GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- ・シーメンスヘルスケア株式会社

◆会場が寒い場合があります。薄手の上着をお持ちになることをお勧めいたします。

◆アクセス◆

ちば県民保健予防財団
千葉市美浜区新港32-14
Tel：043-246-0350 (代表)

徒歩の場合：

JR京葉線、千葉都市モノレール
「千葉みなと駅」より約17分
京成千葉線「西登戸駅」より約15分

路線バスの場合：

JR総武線「千葉駅西口」25番バス停、
JR京葉線「千葉みなと駅西口」1番バス
停から、ちばシティバス「ちば県民保健
予防財団」経由「新港車庫前」行に乗車
し、「ちば県民保健予防財団」で下車。

車の場合：

無料駐車場あり

主催：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

◆問い合わせ先◆

大会長：山口和也 E-mail:ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp

公益財団法人 ちば県民保健予防財団 「総合健診センター」への交通のご案内



交通経路のご案内

○徒歩の場合

JR 京葉線「千葉みなと駅」より、京葉線沿い海側を船橋方面へ約 1.2km、徒歩約 17 分です。

○路線バスの場合

JR 総武線「千葉駅西口」25 番バス停又は JR 京葉線「千葉みなと駅西口」1 番バス停からちばシティバス「ちば県民保健予防財団」「新港車庫前」又は「新港橋」行に乗り、ちば県民保健予防財団下車。
[所要時間：千葉駅から約 18 分、千葉みなと駅から約 8 分。]

○お車の場合

- 京葉道路穴川出口、16 号天台スポーツセンター方面よりお越しの場合
千葉都市モレール穴川駅を過ぎ、直進後、右側に稲毛区役所を見ながら、海側まで下り、京葉線高架をくぐり、国又自動車学校の先を左折して直進すると道路左側になります。
- 船橋方面よりお越しの場合
国道 357 (14) 号線、「運輸支局入口」交差点を右折し、黒砂陸橋側より本線に合流、二つ目の信号を左折して直進すると道路左側になります。
- JR 西千葉駅方面よりお越しの場合
国道 357 (14) 号線、「登戸四丁目」交差点を直進し、幸町陸橋を渡り右折した後、一つ目の信号を右折、突当たり T 字路を右折し、直進すると道路左側になります。
- JR 千葉駅方面よりお越しの場合
国道 357 (14) 号線、「登戸」交差点、JR 京葉線ガード下を通過し突当たり T 字路を右折、信号三つ目の交差点を右折後、突当たり T 字路を左折し直進すると道路右側になります。

○駐車場：約 140 台

◆主なお問合せ先

○各種健康診断・がん検診・一般検査に関するお問合せ（健診事業部）

巡回健康診断については

TEL.043-246-0265 FAX.043-246-8653

施設内健康診断については（個人の方は診療部へお問合せください。）

TEL.043-246-8627 FAX.043-246-8694

○人間ドックのご予約・お問合せ（診療部）

TEL.043-242-6131 FAX.043-246-8694

○診療及び個人の健康診断に関するお問合せ（診療部）

TEL.043-246-8664 FAX.043-246-8694

公益財団法人
ちば県民保健予防財団

〒261-0002 千葉市美浜区新港32番地14
TEL. 043-246-0350 FAX. 043-246-8640
ホームページ <http://www.kenko-chiba.or.jp>

編集後記

今号は、9月2日に開催された第78会関東甲信越支部地方会関係では、会長挨拶、胃エックス線、腹部超音波検査分野の振り返り、超音波研修委員会人気コーナーのザ・ベスト・イメージング・コンテストの結果を掲載いたしました。ライブデモも好評でした。行政の方、看護師さん、消化器内視鏡技師さんにも加わっていただきました。あいにくの雨の中多くの方々が宇都宮にいらしていただきました。餃子を堪能した参加者も多かったようです。

第79会関東甲信越支部地方会会長挨拶を掲載いたしました。

第50回放射線研修委員会学術集会、第7回超音波千葉セミナーのご案内を掲載させていただきました。偶然2月23日同日開催となりました。いずれも、昨年と会場が異なります。ご注意下さい。多くの方々の参加をお待ちしています。

久しぶりに、消化器がん検診に関係した企業様より製品紹介を行っていただくコーナーを再開することにいたしました。株式会社伏見製薬所様よりコロنفォートを紹介いただきました。年度後半になりますと、精密検査の方々でいつも大腸内視鏡検査の待ち時間が長くなります。一方、市の精密検査受診率は低いので、より多くの要精密検査の方に精密検査を受けていただくためには、大腸CTも準備しておく必要があると考えます。

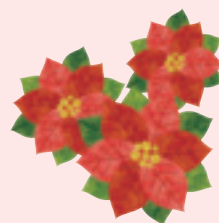
みなさんで力を合わせて、安全安心な検診を行っていきましょう。今後ともよろしく願いいたします。

公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター
山口 和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員	小田 丈二	岡田 義和	神宮宇 広明	山本 美穂
	石井 崇雄	木村 友子	渡邊 綾子	



(非売品)